

アタラシイ
カタチ 特別号

2024年度 活動報告

社会福祉法人アタラシイカタチが運営するこども園。
2024年度の7つの園の様子について、
園長と保育教諭の声をもとに、
いきいきとした写真を交えてレポートします。



社会福祉法人
ア・タ・ラ・シ・イ
カ・タ・チ

<https://atarashii-katachi.or.jp>

やまこども園 やまこども園 mimi 昭和やまこども園 鶴舞やまこども園
やまこども園 hug やまこども園 chouchou 西大寺北こども園

保育教諭や友だちとふれあいの回りのことにも意欲的
ズボンや靴下の脱ぎ着など、自分のことは自分でやろうとする姿が見られるようになった1歳児たち。一人ひとりのペースに合わせて愛情を込めて見守り、心の絆を深めていきました。好奇心を持って見たふたり探索したり、全身を動かしたりと、いろいろな遊びで笑顔いっぱい。友だちに身振りや言葉で自分の気持ちを伝えるようにもなり、成長を感じます。
(1歳児担任：澤田 保育教諭)



わたしが選んだ一枚



みんなで仲よく絵を描き、段ボールハウスを作った思い出のひとコマ。

1年を振り返って

やまこども園 chouchou 前川園長

2024年度から変更となった園名の「chouchou」とは、フランス語で「お気に入り」という意味です。子どもたち、保護者の方々、職員全員にとって「明日も行きたい」と思えるお気に入りの場所となるように、子どもたちの「楽しい!」を引き出す保育を目指しました。10月のガーデンパーティーでは、当園の3歳児とやまこども園の3歳児が交流し、ワクワクできる刺激的な時間だったと好評。来年度も「楽しい」「やってみたい」を引き出せる保育を展開していきます。

思い出ノート

やまこども園 chouchou



暑さを避けて室内でおもちゃの金魚すくいを行うと、「やったー!」と大喜び。



みんなでスイカ割りを楽しんだ夏の思い出。割れると「すごい!」と盛り上がりました。



さつまいものツルで5歳児と2歳児が電車ごっこ♪



専門講師から習った組体操を運動会で披露。大きな拍手が自信につながったようです。



やまこども園にてガーデンパーティー♪初対面の子も同士が誘い合って遊びました。

一人ひとりと寄り添う環境で楽しく遊びながら成長中!

安心して過ごせるよう、一人ひとりの気持ちにゆとり寄り添う保育を心がけました。入園時に保護者の方と離れることに戸惑っていた子どもたちも、5月になるとハイハイや伝い歩きで好きなおもちゃを見つけて遊ぶように。片栗粉などの感触遊びに夢中になり、発表会では拍手をしたり、音楽に合わせて体を揺らしたり。表現する楽しさも体感したようです。
(0歳児担任：橋 保育教諭)



わたしが選んだ一枚



手洗い前に声をかけると、自分で袖をまくってしっかり準備してくれます。

1年を振り返って

昭和やまこども園 花房園長

昨年度より続いていた園舎の建て替え工事。公民館で運動会を開催し、近くの幼稚園の園庭を借りて活動するなど、地域の協力を得ながら保育を進めました。10月から新園舎での生活がはじまり、2025年度には定員が増えます。環境が変わっても一人ひとりの思いを大切に、「明日も園に行き遊びたい!」と思える、笑顔があふれる楽しいこども園を目指します。園庭完成後にはたくましい体づくり、さまざまな経験ができる運動遊びにもより力を注ぎたいです。

思い出ノート

昭和やまこども園



旧園舎で過ごす最後の日。紙吹雪が舞うなか、笑顔のみんなが声を揃えて「今までありがとう!」。



5歳児がさつまいも掘りをし、いも巾着作りにも挑戦。3・4歳児に「食べてくーい」と振る舞いました。



1歳児はじめての小麦粉粘土遊び。感触を確かめ、ヘラや型抜きも使うと夢中に。



子ども用のスティックを使い、ボールの動かし方を教えてもらったホッケー体験。「楽しい」「もっとやりたい!」との声。

異年齢児とも交流しながら
健やかな心身を育んでいます

幼児クラスに進級し、最初は生活リズムの変化にソワソワする様子も見られましたが、異年齢児と積極的に交流してコーナー遊びや水遊びをするように。友だちとの関わりで困ったことがあったときには、保育教諭があいだに入り、互いの気持ちに気づけるように言葉がけをしていきました。発表会の劇では大きな声で表現でき、自信もついていると感じています。

(3歳児担任：葛川 保育教諭)



わたしが選んだ一枚



発表会のリハーサルにて。好きなお話を題材にし、あふれる笑顔が印象的♪

1年を振り返って

やまとこども園 hug 中村園長

好奇心をかき立て、友だちと相談しながら進められるコーナー遊びを設置。相手を思いやる言葉が増え、クラス全員で意見を出し合う場面では、みんなでひとつのことに取り組む面白さや達成感も味わえたようです。また、子どもたちだけで事務室に出入りする当番活動では、自信を持って行動できるように全職員で関わりました。来年度は園庭の土手を活かした自然観察や、絵本コーナーのさらなる整備も行いながら、主体的に考えて行動する力を伸ばしたいと思います。

思い出ノート

やまとこども園 hug



クッキング中、はかりの目盛を凝視して「1g多い!」と。重さへの興味がわきました。



春の遠足では展望台から景色を眺め、「こども園が見える!」などワイワイとおしゃべり。



よく歩いた秋の遠足で、きれいなお花畑に遭遇。記念にパシャリ!



「大きなあれ!」と言いながら、さつまいもに水やり。野菜への興味を高める栽培活動では、収穫後に苦手の野菜をおいしそうに食べる様子も見られます。

一人ひとりと丁寧に
できることが増える日々



身の回りのことのやり方をその都度伝え、ひとりですることが3人の担任で共有。3人からほめられるとうれしそうで、意欲的に自分のことをするようになりました。子どもたちが安心して表現できるよう、一人ひとりの気持ちを受け止めて理解する保育を実践。サーキット遊びを楽しみながら体力をつけ、友だちとの言葉でのやり取りも多くなっています。

(2歳児担任：荻田 保育教諭)

わたしが選んだ一枚



蝶を幼虫から観察。命がある生き物を思いやる気持ちが育まれました。

1年を振り返って

鶴舞やまとこども園 畑山園長

年間テーマは「やってみよう、試してみよう! 心と体を動かして楽しもう」。異年齢児交流を増やし、さまざまな年齢の子どもたちが一緒に散歩や体操などを楽しみました。乳児クラスは自ら遊びを選ぶように保育室の環境を整え、幼児クラスではどこで誰とどんな遊びをしても自由な「FUNDAY!」を導入。いろいろな刺激を受けた子どもたちは、より主体的に遊ぶようになりました。来年度も保育の見直しを常に行い、みんなで成長していける園づくりを進めていきます。

思い出ノート

鶴舞やまとこども園

年下の友だちを
思いやり
仲よしに♪



3・4・5歳クラス合同で
体力づくりのかけ足。
「達!」と声をあげ、
年長さんに憧れる姿も。



園庭に作った
落ち葉のプール。
異年齢児と遊びながら
葉の感触や音を体感しました。



注ぐ水の量によって回転スピード
が変わるおもちゃを用意。「積み重ねてみよう」などと工夫し、いろいろな発見が目まぐるしく★



主体性や協調性が養われ
自信を持って小学校へ

一人ひとりの好きなことや得意なことを伸ばし、子ども主体で保育活動が進められるように努めました。運動会の予行練習では、子どもたちが積極的に準備し、並ぶ順番について声をかけ合うなど、互いに助け合ったりやり遂げようとする力が備わっていると実感。もうすぐ小学生になるという自覚も芽生え、自ら生活習慣を振り返る姿も見られるようになりました。

(5歳児担任：三木 保育教諭)



わたくしを選んだ一枚



鬼ごっこをはじめる子どもたち。足もともからも一人ひとりの個性が伝わります。

1年を振り返って

西大寺北こども園 松井園長

2024年4月に開園。保育教諭は子どもたちの遊びを見守り、振り返りと目標設定を行いながら、成長を後押ししていきました。友だちと泥んこになりながらも「泥を顔にかけるとはよくないよね」と子ども同士で話し合ったり、箱の中に入って自動販売機ごっこがはじまったり……。自発的な遊びを通して、発達にとって欠かせないさまざまな経験を、たくましく育っています。これからも一人ひとりが輝ける環境で、人とのつながりを大切にした保育を進めていきたいです。



車好きの子どもが集まり、板状の積み木で駐車場づくり。「救急車と消防車は隣同士にしよう」などと話し、力作が完成!



異年齢児で開きながら水でばうで遊んだり、泥んこになったり。満面の笑みで夏を満喫♪

思い出
ノート

西大寺北こども園

七夕の日、「織姫と彦星が会えるといいね」との声が。

想像よりも大きな木根が収穫できて大興奮! 栽培活動の達成感でいっぱい。

ルールのある遊びを通して
思いやりの心が育っています

4歳児になると、ルールを設けた遊びやゲームに取り組みながら、友だちと合いになることも多くなるものです。そこで、自分にも相手にも気持ちがあることを知り、仲間意識を育めるようにサポートしました。葛藤を繰り返した結果、次第に相手の話を聞き、相手の立場に立つて考えられるように。頑張っている姿を乗り越える子どもたちの姿は感動的です。

(4歳児担任：石古 保育教諭)



わたくしを選んだ一枚



片栗粉や高野豆腐などいろいろなものにふれ、全身で楽しんだ夏のひととき。

1年を振り返って

やまこども園 生田園長

まずは人格形成において大切な土台がつけられる乳児期の保育を見直しました。そして、幼児期には信頼できる保育教諭と関わりながら、主体的で探究的な活動を通して遊びや育ちを豊かにする、国際バカロレア (IB) の初等教育プログラム (PYP) の取り組みを推進。保育教諭が子どもたちのよい変化を喜び、「保育って楽しい」と思える園づくりをするという視点でも手応えを感じました。信頼する職員とともに「子どもファースト」で保育を楽しみ園をつくりあげます。



怖がっていた子どもも、友だちの影響で意欲的に高い場所へ。到達したら達成感で満たされた表情に!

思い出
ノート

やまこども園



土のさわやか心地を確かめながら、大きなさつまいもを収穫。焼きいもを作って味わった食育活動のひとつ。



寒天にふれる遊び♪すくったり握ったり、はじめての感触を楽しむ子どもたち。



みんな準備したクリスマスツリー。保護者の方に「この飾りをつけたんだよ!」とうれしそうに伝える様子も印象的でした。

みんなのために考えて
行動する大切さを学習

共同生活のなかで助け合うと、
心強い気持ちになれることに気づ
いてほしいと思い、実践を重ねて
いきました。運動会ではパラバロ
ーの演技を披露。練習中は何度も
みんなで振り返ってアイデアを出
し合い、当日はいろいろな技をき
れいに表現することができました。
友だちと一緒に考えたり、調べた
りする場面が増え、主体的に学ぶ
姿勢が身についています。

(5歳児担任：池上 保育教諭)



わたしが選んだ一枚



園生活最後の年、楽しい思い出になればと
企画したスイカ割りは大盛り上がり！

1年を振り返って

やまとこども園 mimi 幸田園長

やまとこども園とともに、奈良県初の国際バカロレア(IB)初等教育プログラム(PYP)の候補校として挑戦した意義深い一年でした。探究する人や考える人、思いやりのある人など、IB認定校が価値を置く「10の学習者像」を保育に取り入れ、試行錯誤を重ねた日々。職員と子どもたちがともに学び続ける姿勢を持ち、IBの学習者としての礎を形づくることができました。この経験を未来の可能性へとつなげ、よりよい学びの場を提供するべく邁進していきます。

作品展では東大寺の
大仏さまを探究。
「大きな手！」と
驚く子どもたち。

思い出
ノート

やまとこども園 mimi



友だちと協力して
穴を掘ったり、長
いツルを引っ張っ
たり。大きなさつ
まいもを収穫しま
した。



脱穀からもみすり、お米を研ぐ、炊く、おにぎりを握るまでを
体験。ごはんのおいしさに改めて気づいたようです。



夏はみんなで
泥んご風呂づくり♪
水や泥の冷たさや感触を
味わい、大はしゃぎ。

